

PRESS RELEASE

2005年1月4日
東京都港区虎ノ門2-3-17
森トラスト株式会社
<http://www.mori-trust.co.jp>
Tel: 03-5511-2255

2005年 年頭所感

2005年の森トラストグループは、複合都市開発事業として「東京汐留ビルディング」の稼動や、「丸の内トラストタワー本館」の着工など、ビジネス基盤の条件として強いニーズのある交通インフラとオフィス集積度を満たした「超都心」での展開を行っていく。また、「東京汐留ビルディング」において、グループ企業のパルコが運営する商業施設「Pedi汐留」や、外資系最高級ホテル「コンラッド東京」を併設させるように、様々な企業とのアライアンス効果を活かしながら、プレミアムの高い都市資産を創造する。ホテル事業としては、個人会員制高級リゾート倶楽部「グランフォーレヴィア強羅倶楽部」を新規事業として開業し、上質なサービスとシステムを提供する。これに加え、高級分譲マンション事業を強化し、関西ではアーバンライフ、東京都心部ではフォレセーヌと、グループ企業を通じて提供していく。

森トラストグループは長年培った都市開発のノウハウがあり、街の在り方についてのビジョンが描けるディベロッパーである。時代に先駆けたビジネスモデルを構築して事業に臨むとともに、都市づくりを託されている責任感を持つことが重要である。自社の開発だけでなく他社の動向にも関心を寄せ、機能性や豊かさなど、未来の街全体の姿を見据えた都市資産の形成に貢献していく。

一方、昨今、多くの企業による不祥事が明らかになり、企業の社会的責任(CSR)の意識が薄れている風潮がみられる。コーポレートガバナンスの機能不全や問題隠蔽体質など、原因は様々指摘されている。また企業は、社会における存在意義がこれまで以上に問われ、株主や債権者に認められる組織体である事が求められている。こうしたなか森トラストは、上場企業の親会社でもあるわけだから、リスク・マネジメントやコンプライアンス体制を強化しながら、社会的なモラルやルールをより一層認識し、「トラスト」の社名にふさわしく社会から信頼される経営を行っていきたい。

[森トラストグループ 代表 森 章]